

# 大学と寄附

## ～科学技術イノベーションの活性化に向けて～

### 日時:

平成29年9月27日(水)

\* 日英同時通訳あり

### 場所:

政策研究大学院大学1階  
想海樓ホール

### 主催:

文部科学省、  
政策研究大学院大学科学技術  
イノベーション政策研究センター

経済を再生させ国際的産業競争力の持続性を確保する上で、大学の教育研究活動の質的高度化が不可欠である。そしてその基盤を確立するためには、大学の財源を多様化し、大学の財政基盤を強固にすることが喫緊の課題として求められている。大学財務の安定化にもっとも有効な方法は、教育と研究に対する民間からの投資や寄付の拡大だという期待が高まっているのである。

海外の大学の財務状況を見れば、「寄付」を獲得することが大学経営における重要な戦略になりつつある。一方で、日本における大学への寄付はほとんど進んでいない。これを増やし定着させる為に日本の大学が取り組むべきことは何か？寄附が日本の大学の教育研究活動及び科学技術イノベーションの活性化にもたらすインパクトはどのようなものか？近年、英国において寄付収入を目覚ましく拡大させてきたユニバーシティー・カレッジ・ロンドン学長のMichael Arthur氏、東京大学第28代総長として早くから日本の国立大学に対する寄附収入の拡大に注力をされてきた小宮山宏氏を迎え議論する。

## プログラム

12:45	開場
13:30 - 14:10	主催者挨拶 文部科学省 背景説明 上山隆大氏 (内閣府総合科学技術・イノベーション会議常勤議員)
14:10 - 15:20	基調講演 「The Role of Philanthropy for Advancing Scientific Research at UCL」 Michael Arthur氏 (ユニバーシティーカレッジロンドン学長)
15:25 - 16:35	基調講演 「プラチナ社会に向けた大学への期待—経営基盤の安定化と寄付—」 小宮山宏氏(東京大学第28代総長、ジャパントレージャーサミット代表理事)
16:35 - 16:45	休憩
16:45 - 18:05	パネルディスカッション 上山隆大氏(内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員) Michael Arthur氏(ユニバーシティーカレッジロンドン学長) 小宮山宏氏(東京大学第28代総長、ジャパントレージャーサミット代表)
18:05	閉会

Michael Arthur氏(ユニバーシティーカレッジロンドン学長)



Professor Michael Arthur is the President and Provost of UCL. He took up the post on 1 September 2013, the first clinical academic to hold this position. Prior to this, he was Vice-Chancellor of the University of Leeds (2004–2013). Professor Arthur is a hepatologist, with research interests in liver cell biology. He was a Fulbright Distinguished Scholar at Mount Sinai School of Medicine in New York (2002). Awarded the Linacre medal of the Royal College of Physicians in 1994, he became a Fellow of the Academy of Medical Sciences in 1998. Professor Arthur has a significant international profile in higher education. A former Chair of the Worldwide Universities Network and the Russell Group of Universities. A former Member of the Medical Research Council Member (2008–2014) and former US/UK Fulbright Commissioner. Professor Arthur is fully committed to philanthropy. In September 2016 UCL launched the largest Campaign in its history.

小宮山宏氏(東京大学第28代総長、ジャパントレージャーサミット代表理事)



1967年東京大学工学部化学工学科卒業。1972年同大学大学院工学系研究科博士課程修了後、東京大学工学部長等を経て、2005年4月に第28代東京大学総長に就任。2009年3月に総長退任後、同年4月に三菱総合研究所理事長に就任。2010年8月には、サステナブルで希望ある未来社会を築くため、生活や社会の質を求める「プラチナ社会」の実現に向けたイノベーション促進に取り組む「プラチナ構想ネットワーク」を設立し、会長に就任。専門は化学システム工学、地球環境工学、知識の構造化。地球温暖化問題の第一人者でもある。著書に「地球持続の技術(岩波新書)」、「知識の構造化(オープンナレッジ)」、「『課題先進国』日本(中央公論新社)」、「日本『再創造』(東洋経済新報社)」、「新ビジョン2050(日経BP社)」、「Beyond the limits to Growth -New Ideas for Sustainability from Japan (Springer)など多数。

<モデレーター>



上山隆大氏(内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員)

1987年大阪大学経済学部経済学科博士課程修了。スタンフォード大学歴史学部大学院修了(Ph.D.)。上智大学経済学部教授・学部長を経て、慶應大学総合政策学部教授、政策研究大学院大学副学長を経て、2016年4月から現職。スタンフォード大学歴史学部・客員教授、東北大学工学部大学院工学研究科客員教授などを歴任。主な著書に『アカデミックキャピタリズムを超えて:アメリカの大学と科学研究の現在』(NTT出版、読売・吉野作造賞)などがある。専門は、科学技術政策、科学技術史、公共政策、イノベーション政策、高等教育論。

アクセス

政策研究大学院大学

<http://www.grips.ac.jp/jp/about/access/>

〒106-8667

東京都港区六本木7-22-1

\*会場は本学1階にあります。

\*正門からお越しの際は、エレベーターで1階まで降りて下さい。

最寄駅

都営大江戸線六本木駅、東京メトロ日比谷線六本木駅、東京メトロ千代田線乃木坂駅

参加登録

最新プログラムおよび参加申込みはこちらをご覧ください。(締切:9月25日(月)正午)

参加費は無料です。なお、申込みは定員に達し次第、締め切らせていただきます。

URL: <http://ttm.grips.ac.jp/?p=206>



<問合せ先>

イノベーション経営人材育成システム構築事業「大学トップマネジメント研修」事務局

TEL: 03-6439-6376 Email: [ttm-ml@grips.ac.jp](mailto:ttm-ml@grips.ac.jp)